

## 編集後記

令和3年度の石川県立看護大学年報が発刊の運びとなりました。平成12年（2000年）の開学年度からの発刊を積み重ね、今回は第22巻となります。本学教職員が日々取り組んだ教育、研究、地域貢献、学内運営の実績が記されています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながらの一年でした。当たり前となった対面とオンラインを併用しながらの講義、演習でありつつも、看護学実習では受け入れ施設の御理解と御協力のもと臨地での実習が叶うことも多くなり、受け入れ施設のご尽力に改めて感謝の念を抱きます。

春、大学では大きな変化がありました。令和3年度末をもって石垣和子学長が退任されました。11年の長きにわたるご功績はここでは言い尽くせませんが、石垣学長が創設された附属看護キャリアセンターの諸活動等がこの年報から多々お分かりいただけることと思います。そして、令和4年度からは真田弘美第4代学長が就任されました。真田学長率いる新生チームIPNUは、新たなステージに向かって日々邁進しております。今後の年報での報告をご期待ください。

本誌の編集にあたり、各委員会、附属施設の皆様から多大なるご協力をいただきましたことにお礼を申し上げます。また実質的な作業を担った外主事および前任の平村主任主事、中嶋委員、額委員の労を労いたいと思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

自己点検評価委員会 年報編集部会長 金子紀子